

# No.13

## BIM を用いた統合施工管理システムの開発（その2） —システムの適用工種拡大—

長澤 新治<sup>1)</sup>, 清田 茂晃<sup>2)</sup>, 轟見 淳也<sup>1)</sup>

### Development of Integrated Construction Management System Using BIM Part 2: Expansion of Applicable Construction Types of the System

Shinji Nagasawa<sup>1)</sup>, Shigeaki Kiyota<sup>2)</sup> and Junya Tsurumi<sup>1)</sup>

#### ■ 要旨

2024年に建設業においても施行される労働時間の上限規制など、建設業を取り巻く環境は大きな転換期を迎え、建設現場における生産性の向上は必要不可欠な取り組みである。このような時代の動きに対応すべく、当社では施工管理における生産性向上を目的として、工事関係者全員に対して工事情報の見える化を可能とする「五洋建設統合施工管理システム：PiCOMS(ピーコムス：Penta-Ocean Integrated Construction Management System)」を開発した。前報<sup>1)</sup>以降、PiCOMSの適用できる工種を拡大するため、鉄骨工事に対応した「PiCOMS-S」、および、杭工事に対応した「PiCOMS-Pile」をそれぞれ開発し、複数の現場に導入した。実際の運用検証の結果、施工管理における生産性向上に効果があることを確認した。

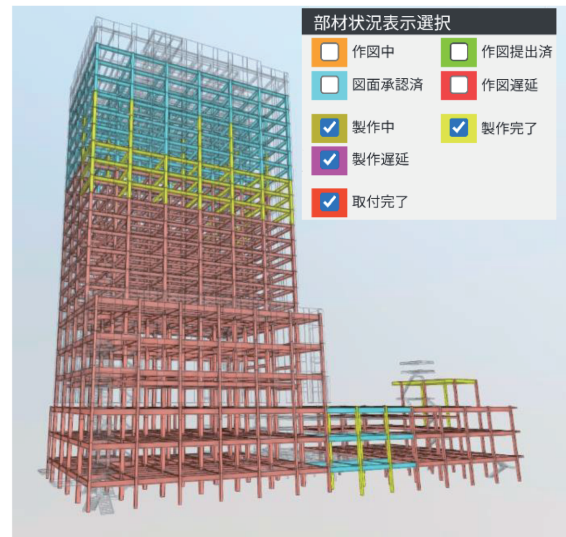


図-4 BIMモデルによる鉄骨工事の進捗表示

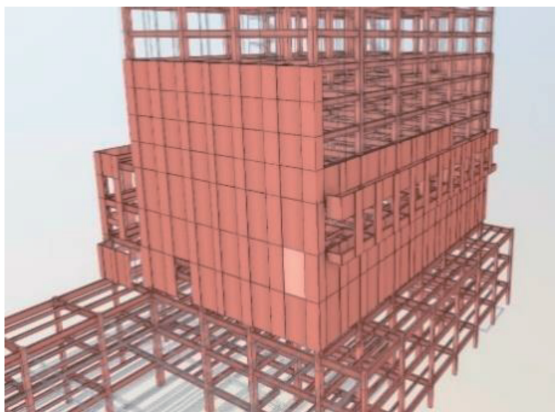


図-5 PCa 外壁板工事の進捗状況の見える化

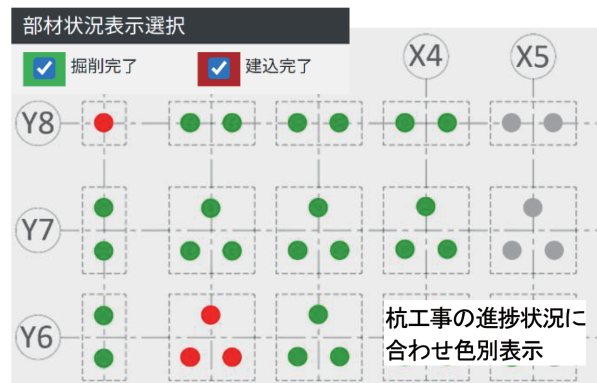


図-9 杭打設の2D進捗管理画面

1) 技術研究所 建築技術開発部  
2) ICT推進室 BIM/CIMグループ